

岩沼市市民活動サポートセンター
(いわぬま市民交流プラザ内)
〒989-2441
岩沼市館下二丁目3-1
☎ 35-7205 FAX 35-7265
✉ iwasapo@dream.ocn.ne.jp

いわサポ通信

ミニ研修会

参加してよかったと思える会議づくり ～傾聴と質問のポイント～

有意義な会議にはコツがあります。

今回は「傾聴と質問のポイント」について学びます。

気軽にご参加ください。

日時：2月9日（水） 13時30分～15時30分

場所：いわぬま市民交流プラザ 多目的室1・2

講師：特定非営利活動法人 地星社 布田 剛 氏、赤川 泉美 氏

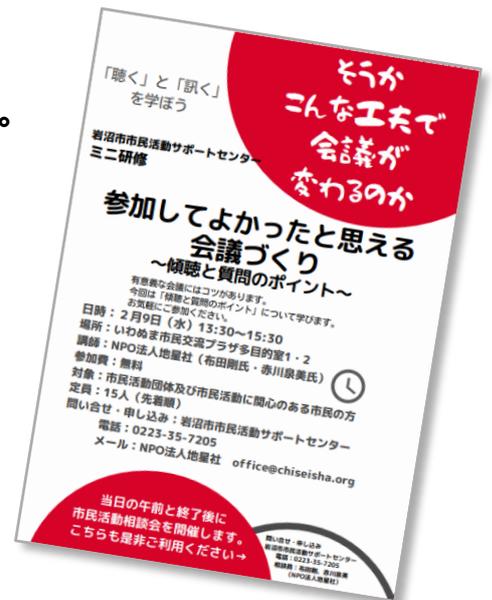
参加費：無料

対象：市民活動団体および市民活動に関心のある方など

定員：15人（先着順）

問・申込：岩沼市市民活動サポートセンター

(☎35-7205)



市民活動団体登録のご案内

市民活動団体として登録しませんか？

岩沼市市民活動サポートセンター（サポセン）を利用する団体のうち、地域づくり、生きがいづくりなどの社会活動や第三者への奉仕活動（この他にもいくつかの条件があります）を行っている団体は、市民活動団体として登録（団体登録）することができます。

団体登録をすると、いわぬま市民交流プラザ貸室使用料の減額、無料貸しロッカーの利用などができます。

団体登録に関する条件、申請手続き、施設利用などの詳細は、サポセンにお尋ねください。

なお、令和4年1月1日現在、24団体が団体登録しています。

団体登録

市民活動相談会のお知らせ

日時：2月 9日（水） 15時30分～16時30分

3月11日（金） 13時30分～16時30分

※要申し込み、1組50分程度。

場所：いわぬま市民交流プラザ 交流室2

相談員：水曜日担当 特定非営利活動法人 地星社
布田 剛 氏

金曜日担当 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

太田 貴 氏

相談料：無料



各種手続き、イベントなどの申し込み、問い合わせは岩沼市市民活動サポートセンターへご連絡ください。(☎35-7205)



団体のイベントや会合などで進行役を任せられたとき、とても緊張してしまいますよね。ましてや、初対面の方やこれまであまりお話をしたことがない方が参加されていたとき、初めにどのような話題から始めればよいか悩んだことはありませんか。

イベントを盛り上げたり、活発な意見交換となる会合にするために、会場のムードづくりが重要になります。「今日はどんな話題で会場を温めたらいいだろう」と悩んだときに思い出してほしい便利な言葉が「木戸に立てかけし衣食住」です。

季節の変わり目には「気候や季節の話」、同じ趣味の方の集まりでは「楽しい趣味の話」など、進行役の大役を任せられたときは、ぜひこの言葉を思い出し、準備して当日を迎えられたら安心です。

この他にも「てきどにせいりすべし」という言葉もあります。どなたがどう活用されているのかも含め、調べてみてください。これも1つの楽しい話題になると思います。



《ポイント》

進行役が注意すべき点は、会話が一方通行にならないようにすることです。皆さんが気持ちよく会話に参加できるように気配りをしましょう。

「木戸に立てかけし衣食住」？

- 木 気候や季節の話
- 戸 道楽（趣味）の話
- に ニュースの話
- 立 旅の話
- て 天気・テレビの話
- か 家族の話
- け 健康の話
- し 仕事の話
- 衣 ファッションの話
- 食 食べ物の話
- 住 住まいの話



【タブーな話題】

「政宗の皿」

親しい間柄でない限り避けた方がよい話題は「政宗の皿」です。こちらも頭文字で、政治、宗教、野球、サラリー（給料）となっています。

これらの話題は、個人のプライバシーや思想、信条に関わるもので、人それぞれに譲れないラインがあって、意見が対立しやすい話題と言われています。



そこら辺の竹と同じように栽培は簡単だろうと高をくくっていたが大間違い。季節外れの紅葉に落葉、一筋縄ではいかない。これからは、黒竹についても勉強しなければと思っています。

素人考えでは、黒竹も竹なので、黒竹は名前のとおり黒い幹と緑の葉のコントラストが美しく、プラザの空間を潤してくれている。ところがこの黒竹、もともと栽培が難しい植物なのか、それとも手入れが下手なのか、なかなか思うようには育ってくれない。

黒竹は名前のとおり黒い幹と緑の葉のコントラストが美しく、プラザの空間には、開館当初から数本の黒竹が、大きなプランター2個で育てられている。

黒竹栽培で四苦八苦

いわさポチの「いさぽち」

「光陰矢の如し」ということわざがあります。意味は、「月日の過ぎるのは矢のように速い」ということですが、それに加えて、「月日の過ぎるのは放たれた矢のように速く、また、二度と戻ってこないものだ。時間は大切に使いなさい」という教訓としても使われています。

このことを特に感じる今日この頃です。今年は、一日一日を大切に過ごしたいと思います。（櫻）